

# あおば

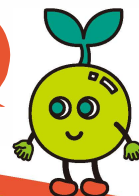
No.110

Autumn 2024



JA東京あおば HP

2024年  
秋号



〔対話〕 〔特集〕

11月16日・17日開催

第27回 JA東京あおば農業祭

in 都立光が丘公園

准組合員アンケート2024

〈大人気〉

きじまりゅうた あおばの台所



01 NEWS

## 大泉地区青壮年部 「組織活動実績発表大会」に出場

9月19日(木)、「令和6年度リーダーセミナー・組織活動実績発表大会」が都民ホール(新宿区)で開かれました。本大会はJA東京青壮年組織協議会が主催するもので、各青壮年部が活動内容を決められた時間内で発表し、発表内容などを審査する。



03 NEWS

## 第1期 JA東京あおばカレッジ修了

7月31日(水)、ホテルメトロポリタンで第1期JA東京あおばカレッジの卒業式が行われました。当JAでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の重点施策として「次世代の組合員リーダーの育成」を掲げています。カレッジはその一環で、協同組合の基本理念やJAへの理解を深め、地域農業やJAを担う次世代リーダーを育てるために令和4年10月に開講。受講生8人が全11回にわたって講義や管内・管外視察などを行ってきました。

卒業式終了後の懇親会では、受講生が生産したトマトや雑司ヶ谷ナスなどを使った料理が提供されました。



02 NEWS

## 組合員との対話 組合員座談会開催

7月3日(水)～10日(水)にかけて計5回、組合員座談会を開き、174人が出席しました。座談会では、映像も交えて令和5年度の事業報告を行ったほか、前回の組合員座談会で出た意見・質問などをまとめ、報告を行いました。その後、意見交換



04 NEWS

## 伝統のジャンボかぼちゃ品評会

7月18日(木)、田柄支店前を会場に「第25回ジャンボかぼちゃ品評会」が開かれ、管内の組合員が生産した約30点が並びました。本品評会で競うのは、カボチャの「重量」。1個平均35キロを超えるジャンボかぼちゃをJA職員が丁寧に運び、測定しました。今回は19人が出品し、田柄



06 NEWS

## 大泉新鮮直売組合 江戸川分場視察

8月6日(火)、大泉新鮮直売組合は東京都農林総合研究センター江戸川分場への視察研修を行いました。17人が参加しました。

江戸川区の野菜作付けの9割以上は、ハウス栽培のコマツナです。研修では夏の強い品種や病気に

強い品種、コマツナに力を入れている種苗会社、ハウスの土壌消毒の方法など幅広い情報を得ることができました。直売組合の庄男組合長は「ハウスの夏の地温の上昇を利用した太陽熱消毒の説明には多くの質問が出ていて、参加者の意識の高さが見えました。暑さで農作業ができない時期に、またこのような研修を実施したいです」と話しました。



05 NEWS

## 練馬大根伝来種の伝統受け継ぐ

7月23日(火)、大泉地区の白石好孝さんの畑で、練馬大根伝来種の採種作業が行われました。同じく伝来種を栽培する渡戸章さん、五十嵐透さん、東京都練馬区職員らが参加しました。種は練馬大根伝来種保存委託事業に参加する白石さんの畑で採れたもの。当日は、さや踏

みや穀と種を分別するための唐箕(とうみ)がけなどを行い、約3.8万粒を採種しました。白石さんは「今年も良い種が採れました。後世に練馬大根をつなげられるよう栽培を続けていきたいです」と話しました。伝来種保存委託事業では、今回の採種作業のほか、より練馬大根らしい特性を持ったものを選ぶ母本選定なども行い、練馬大根を後世に伝える取り組みを行っています。





07  
NEWS

## ブドウ食味検討会で今年の出来を確認

8月19日(月)、城北ぶどう研究会は、練馬春日町支店で食味検討会を開きました。管内のブドウ生産者が「高尾」「藤稔」「シャインマスカット」など17品種28点を持ち寄り、房の重量や糖度、色合いなど5項目に基づき測定し、試食し

ながら今年のブドウの出来を確認しました。検討会には東京都の農業改良普及員や練馬区職員も参加しました。普及員は「7月から8月の高温が色づきに影響を与えましたが、会員皆さまの努力や工夫により、

例年以上に甘くておいしいブドウができました」と講評しました。管内産のブドウは毎年8月中旬～9月にかけて、各生産者の庭先直売所や当J A直売所を中心に販売されます。

09  
NEWS防災講習会開催  
板橋地区女性部

9月12日(木)、板橋地区女性部は赤塚支店で防災講習会を開き、約40人が参加しました。

部員が自ら講師を務め、実際に役立つ防災グッズを持参し、目で見て、手に取り、使って体験。防災食については、普段食べなれているものを回転させて保存する「ローリングストック」に関する説明がありました。また、水があまりない状況でも作れる「お湯ポチャ防災食」については、実際に調理をし、どれもおいしいと好評でした。

講師を務めた春日重美さんは「水は本当に大切。しっかり準備をしてほしいです」と話しました。また、同部の本橋玲子部長は「これを機にしっかり備えてくれれば」と話しました。

08  
NEWS

## 野生動物被害防止へ 大泉新鮮直売組合

J A東京あおば管内では、野生動物による農作物被害が増加しています。特に、ハクビシンやタヌキなどによる農作物被害件数が増加しており、令和5年度は52頭を捕獲しています。近年はアライグマによる被害も増加傾向。そうしたなか、7月2日(火)、大泉新鮮直売組合は

生産者の畑で電気柵「かたまったくん」の設置講習会を開きました。現在主な対策となっている箱わな設置は、被害軽減効果に限りがありますが、電気柵は畑への動物の侵入を抑制し、被害の未然防止が見込めます。

講習会では、メーカー担当者や東京都の農業改良普及員を講師に迎え、生産者10人が参加。設置のコツや動物の習性を学びました。直売組合の莊光男組合長は「電気柵は導入コストの面で課題は残りますが、被害軽減にとっても有効な手段だと考えています」と話しました。

10  
NEWS

## 平和台支店新店舗竣工式

9月3日(火)、平和台支店新店舗の竣工式典が開かれました。J A東京あおばでは、健全な経営を維持するために策定した支店再編計画に基づき、支店統廃合や新築・建て替えを行ってきました。平和台支店は10月18日(金)正午に

現店舗での営業を終了し、21日(月)からは新店舗で営業を開始します。平和台支店新店舗の情報は、14ページをご覧ください。新店舗も変わらぬご愛顧のほど、よろしく願い申し上げます。

12  
NEWS第10次中期経営計画  
組合員・現場の声の反映めざす

令和6年度は当J A第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の最終年度です。次年度からの「第10次中期経営計画(農業振興計画含む)令和7年度」は、合併30周年の節目を迎えるタイミングでの計画であり、当J Aが今後も組合員や地域の皆さまにとつて、なくてはならない存在で在り続けるために重要なものです。

計画策定にあたっては、組合員皆さまの意思・要望を反映させるため、当J A常勤役員、地域振興委員(非常勤理事)、各部室長のほか、青壮年部や女性部をはじめとする各組織協議会代表者の皆さまにもご参加いただく「第10次中期経営計画策定会議」を



ループワークも行われました。



8月24日(土)、入組2年目～7年目の若手職員を対象に「NEXTの部屋」と題し、協同活動の大切さを学び、理解を深め、組織の横のつながり強化を目的とした勉強会を開きました。

当J Aでは、第9次中期経営計画(農業振興計画含む)の中で「人財育成・活力ある職場づくり」を掲げており、若手職員による「第3期NEXT A O B A P J (ネクストアオバプロジェクト)」を発足させ、10人のメン

バーが活動しています。P JメンバーはJ Aを取り巻く環境やJ Aの抱える課題等を協議し、組合員・地域住民・J A役員が一体となって取り組む「協同活動」が重要であると考え、「協同活動の実践」をP Jの取り組みテーマとしました。今回の「NEXTの部屋」には47人が参加し、家の光協会講師から協同活動の意義や事例を学んだほか、「自分達で協同活動を実践するとしたら」をテーマにグ

ループワークも行われました。





# 第18回 練馬大根引っこ抜き競技大会

12月1日(日)開催!

伝統野菜として全国に名高い「練馬大根」。長〜い練馬大根を引っこ抜いた本数や大きさを競います! 抜いた本数を競う個人の部と、親子でもご参加いただけるグループの部をご用意しています。練馬大根を通して都市農業を身近に感じましょう!



みなさんの参加申込お待ちしております。

参加条件や申し込み方法は、10月21日(月)発行の「ねりま区報」、または10月21日以降に当JAホームページをご確認ください。

# 第47回 板橋農業まつり

11月9日(土) 11:30~16:00  
10日(日) 10:00~15:30

会場 赤塚体育館通り周辺(板橋区赤塚5-6周辺)



宝船は9日のパレードで動きます!

JAのイベントで人気の田舎まんじゅうも販売!

農産物共進会のほかにもさまざまなイベントやお店が出店します!



見て

見事な野菜の宝船がお出迎え!  
今年は練馬地区の農家さんが製作します



地元で育った色とりどりの見事な野菜や果物、花が並びます。品評会会場では、金の札がついた特賞の農産物を探してみよう!

買って

新鮮な地場産農産物を生産者自ら販売します

直売所の人気商品、産地から旬の農産物の出張販売も!



食べて

若手生産者の皆さんが模擬店を出店します!



毎年大人気の田舎まんじゅう、今年は両日販売します!!



今年もやります!

会場

都立光が丘公園(けやき広場)

第27回 JA東京あおば

農業祭



11月  
16(土)・17(日)  
10時~16時

同会場では「全国都市農業フェスティバル2025 プレイイベント」を開催します。



ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

各イベントは、天候や作物の生育状況により延期や中止をする場合がございます。イベント内容は予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

## 11月・12月の主なイベント情報

イベント名	日程	会場	備考
直売所フェスタ(秋)	11/2(土)・3(日)	ファーマーズショップにりん草ふれあいの里・とれたて村石神井ファーマーズショップこぐれ村	にりん草は3日(日)臨時営業
第47回 板橋農業まつり	11/9(土)・10(日)	赤塚体育館通り周辺	主催:板橋区
第27回 JA東京あおば農業祭	11/16(土)・17(日)	都立光が丘公園(けやき広場)	全国都市農業フェスティバル2025 プレイイベント共同開催 主催:全国都市農業フェスティバル実行委員会・練馬区
貯金感謝デー	11/18(月)	JA東京あおば各金融店舗	配布条件等詳しくは、JA東京あおばの窓口へお問い合わせください
第18回 練馬大根引っこ抜き競技大会	12/1(日)	練馬区内の畑	事前申し込み制 詳しくは本ページ上部をご確認ください
年金感謝デー	12/13(金)	JA東京あおば各金融店舗	配布条件等詳しくは、JA東京あおばの窓口へお問い合わせください
シクラメンと冬の華特別販売	12月上旬(予定)	ふれあいの里	詳しくはふれあいの里(☎03-3991-8711)
年末セール	12月下旬(予定)	ファーマーズショップにりん草ふれあいの里・とれたて村石神井ファーマーズショップこぐれ村	

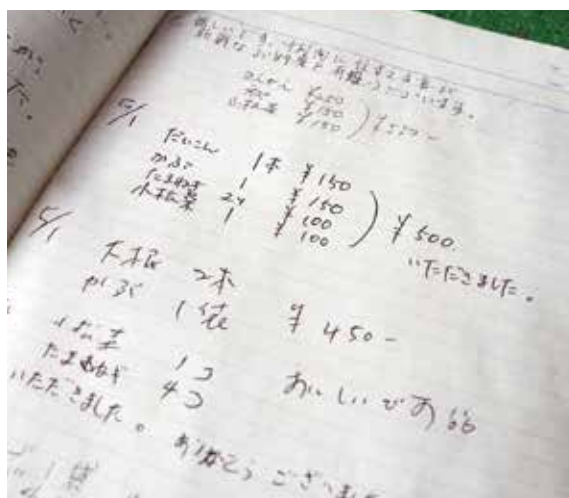




住宅に囲まれた畑



今年初めて企画したヒマワリ迷路



ノートには感謝の言葉も多く記されていた



受け継いだ地域に親しまれる庭先直売所



受け継いだ畑を  
地域と共に  
残していきたい

## 農の現場

都市農業の未来を探る

110

練馬区中村南

西貝 洸輝さん

「野菜を作るだけじゃなく、自分も地域の人も楽しめる畑が一番ですね」そう笑顔で話すのは、西貝農園を営む西貝洸輝さん(39)。6年ほど前まで23区内のJAに勤めていた若手農業者だ。農家の長男として、50歳くらいにはJAを退職し、就農するのだろうと思っていたというが、30歳を迎えた頃、生家と隣接する畑で農業を営んできた大叔母が高齢により農作業ができなくなった。後継者もいなかったことなどから、その畑を受け継ぐために就農を決意したという。就農後2年間は父、孝之さんのもとで営農し、JA職員時代に営農技術の基本は身につけたつもりだったが、そこで初めて「生きた農業」を経験したという。

受け継いだ約45アールの畑は現在、農作業を手伝ってくれるボランティアはいるものの、基本的に1人で管理している。敷地内に設けられた庭先直売所は大叔母の時代から地域に親しまれてきた場所。西貝さん自身も「前職の経験から、地域の方々に農業に親しんでもらうことは非常に大切だと知っている。地域とコミュニケーションが図れる庭先直売所は大切にしていきたい」と話してくれた。そんな庭先直売所を見渡してみると、地域とのコミュニケーションを大切にする西貝さんの思いが現れるのが目についた。それは「自由ノート」。ノートには地域の方々によって欲しい野菜等が記入されており、畑を受け継いだ当初から品目のニーズ把握に役立っているという。また「収穫体

験などのイベントもやってほしい」といった要望も書かれており、それをきっかけに始まったのが夏に行っているバーベキューイベント。「現在はまだ知人だけに参加者を限定しているが、いずれは地域にも開かれたイベントにしていきたい」と今後の構想を話してくれた。本人はそう話しているが、実は既に西貝農園は地域に開かれ始めている。その一つが、景観的にも地域のの人に楽しんでもらえるようにと、知人と話し合っ

て今年初めて取り組んだ「ヒマワリ迷路」。迷路は誰でも自由に入ることができ、料金を払えば花を持ち帰ることもできる。取材中にも家族連れが迷路に入り楽し気に写真を撮っていた。「通路の幅が狭かったかな」「植え付け時期がずれたから花が一斉に咲かなかったな」など課題も多いようだが、次回に向けて課題を話す西貝さんの表情はとても生き生きとしたものだった。さらに、下校中の小学生には畑に飛ぶ蝶を捕らせてあげたり、収穫を体験させてあげたりと、日常的に畑に親しむ場を地域に提供している。

「都市農地は農産物を生産するだけの場ではもったいない。地域の人を巻き込みながら、いろいろな活用方法を考えていきたい」。まさにこの言葉が、今の開かれた西貝農園を体現している。将来的には、子どもたちへ食農教育の場としての提供や、障がい者雇用、体験農園区画の開設など、農業から始まるコミュニティ創出をめざしているという。

昨今、都市農地の多面的機能がさらに注目されるなか、地域の共有財産として農地を受け継ぐ西貝さんの取り組みは、都市農業と地域の架け橋となっていく。



## 家庭菜園

フクダ流

# タマネギを作ろう

Vol.10

## タマネギの品種いろいろ

タマネギはいろいろな品種が市場に出回っています。9月に種をまき、苗を養成します。11月が植え付けの適期なので、10月はその栽培準備に入る時期です。もう種まき時期ではないので、これからは出来上がった苗を直売所などで入手して、植え付けるのが良いでしょう。

私がよく作るタマネギの品種は極早生で3月から収穫できる「フォーカス」、5月に収穫でき年内の貯蔵性もある中生種「アトシ」、3月まで貯蔵できる「アイトル」も「え」などです。極早生品種の収穫期は早いのですが、貯蔵性はありません。中生、中晩生品種は収穫後、吊っておけば年内は十分貯蔵できます。

## 栽培畝の準備

時期的に、10月に栽培が終わるサトイモやナス、ピーマンの跡がタマネギ栽培に適しています。1平方メートルあたり、堆肥を5kg、ボカシ肥料を300g、草木灰かそれに変わるもの（牡蠣殻石灰や炭化有機など）を100g入れて、表層に混ぜ合わせます。幅70cmの畝を立てマルチを張ります。マルチは穴あきの9515（幅95cmで5列の穴が開き、穴の間隔が15cmのマルチ）が適しています。苗を植えるのは11月ですが、10月中に前作が片付けられれば事前に準備しておけます。



堆肥、ボカシ、草木灰を入れる



表層に混ぜ合わせる



9515 穴あきマルチ

## 苗の植え付け

苗は根元の太さが6〜7mmのものを植えます。それより太いと、とう立ちしやすく、逆に細いと冬の寒さで枯れることがあります。苗は穴の中央に1本ずつ植えます。指で穴を開け、根を全部土に入れて苗の株元の白い部分までを植えます。



苗を1本ずつ穴に植える

## 越冬と栽培管理

ユーラックカンキなどの換気穴が開いたポリをかけておくことで、寒い冬も枯れずに越冬させやすくなります。ポリトネルは12月〜3月までかけておきます。12月、1月、2月の3回追肥を行います。追肥は、ボカシ肥料を穴に振るものと、ボカシ肥料を水に溶かし、その上澄みを100倍程度に薄めたものをかける2通りの方法があります。また、ネギ類に発症するさび病を予防するためには、私は蟹殻をお酢につけてキチン質を抽出したキチン質酢を100倍に薄めてかけています。これによってさび病が出なくなります。



12月、1月、2月に追肥を行う



液肥やキチン質酢はジョウロで散水

## いよいよ収穫

極早生品種は3月〜4月にかけて収穫できます。球が太り、茎が倒れれば収穫の合図です。中生種、中晩生種は5月以降に収穫を迎えます。中生種以降は貯蔵ができるので、雨の当たらない場所に吊るして干して貯蔵します。



中晩生タマネギ「アイトルももえ」



茎が倒れたら収穫期の合図

## おまけ

今回は時期的に育苗については触れませんでした。今後育苗しようと考えている方は、288穴のセルトレイ育苗がおすすめです。セルトレイに1粒ずつ種をまくと良い苗が揃い、植え付けがしやすくなります。また、タマネギはプランターでも栽培ができますので、ぜひお試しください。



タマネギはプランターでもできる



セルトレイ育苗は良苗ができ植えやすい

## プロフィール

ふくだ とし  
福田 俊



1972年 東京農工大学農学科卒。  
2005年 協和種苗(株)退職。  
2011〜2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。  
サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。  
2012年〜「日本農業新聞」で「フクダ流」を連載中。







## 秋の味覚サツマイモ

こんにちは！きじまりゅうたです。  
今回は、秋の訪れを感じさせる「サツマイモ」。最近はや食感の特徴が違った品種も多く販売されていて、食べ比べるのも楽しみの一つになっていますね。JA直売所でもいろいろな品種が売られていますよ！今回ご紹介するサツマイモのきんぴらは、ラー油を使って、ピリッと辛くて癖になる味付けとなっています。ぜひご家庭でお試しください。

### プロフィール

豊島区（JA東京あおば管内）に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか？」「あさいち」きょうの料理」など多数メディアに出演中。



### RECIPE //

#### 作りおき

## サツマイモの ラー油きんぴら

### 材料2人分

サツマイモ・・・1本(300g)  
白いりごま・・・小さじ2  
ごま油・・・小さじ2  
ラー油・・・適量  
砂糖・・・小さじ2  
しょう油・・・大さじ1.5  
輪切り唐辛子・・・1本分

### 作り方

- ①サツマイモを長さ5cm、5mm角の細切りにして水にさらす。
- ②フライパンにごま油をいれて、水気をきったサツマイモと唐辛子を炒める。
- ③サツマイモが透明になり始めたら砂糖をいれてなじませる。
- ④照りが出てきたら、しょう油を加える。
- ⑤サツマイモが柔らかくなるまで炒めて、ラー油とごまを混ぜる。

これまでご紹介したレシピを  
JA東京あおばのホームページ  
に掲載しています。▶▶▶



### RECIPE //

## メイン

## サツマイモの豚しゃぶのつけ

### 材料2人分

サツマイモ・・・1本(300g)  
豚バラしゃぶしゃぶ用・・・150g  
細ねぎ・・・2本  
黒すりごま・・・小さじ1

A  
味噌・・・大さじ1.5  
砂糖・・・小さじ2  
酢・・・大さじ1  
ラー油・・・適宜

### 作り方

- ①サツマイモは皮ごとよく洗い、ペーパーで包んで濡らし、ラップで包んで、レンジで5分加熱する。
- ②加熱後、ラップで包んだまま5分蒸らす。
- ③細ねぎを小口切りにする。
- ④熱湯を沸かして火を止め、豚肉をいれてほぐす。肉の色が変わったら取り出し、水気を切る。
- ⑤熱いうちに豚肉とAを絡める。
- ⑥サツマイモのラップとペーパーを剥がして縦半分に分けてから、食べやすい大きさに切って器に盛る。
- ⑦豚肉を載せ、細ねぎとごまを散らす。





## 平和台支店 ご利用のお客様へ

新店舗のご案内  
令和6年10月21日(月)より  
新店舗へご来店ください。

新店舗住所 練馬区平和台4-7-6

現平和台支店の窓口・ATMは、  
令和6年10月18日(金)の正午まで、  
営業終了となります。

窓口	ATM
現平和台支店 正午まで 営業	現平和台支店 正午まで ご利用可能
10月18日(金)	終日 休止
10月19日(土)	終日 休止
10月20日(日)	平和台支店 新店舗 8:45より ご利用可能
10月21日(月)	

JA東京あおば



職員一同お待ちしております。

## 農協、漁協など農林漁業団体にお勤めだった方



# 特例一時金を もらい忘れていませんか？

農林年金に  
住所が  
未登録の方

令和7年3月末で請求期限(時効)となります！

お急ぎください

### 特例一時金の対象者

改正法の施行日(令和2年4月1日)の前日(基準日)  
において特例年金の受給権を有している方(退職  
給付、遺族給付、障害給付のすべての受給者)。

基準日において特例年金の受給権を有していない  
が、厚生年金と農林年金の統合(平成14年4月1日)  
より前の農林年金への加入期間が1年以上ある方。

平成8年12月末までに団体を退職された方の住所情報が未登録の可能性があります。そのため特例一時金のご案内をお送りできず、特例一時金を受け取れない方がいます。令和7年3月末に請求期限(時効)となってしまうため、お心当たりのある方はまずはお電話でお問合せください。

農林年金住所登録センター  0120-199-155

## 身近に見！新鮮！庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください！



### 南・西大泉地区 エリア

今回は西武池袋線より北の  
「南・西大泉」の地域をピック  
アップダネ！

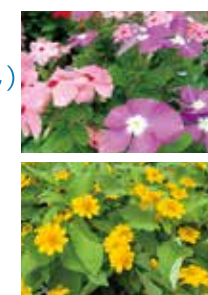
子どもたちや地域住民の憩  
いの場として知られる「大泉交  
通公園」があり、住宅地にある  
公園や緑地で癒されているん  
ダネ！

地図をたよりに、ぜひお出  
かけダネ！

### 1 田中園芸

(田中 正春さん、誠蔵さん)

住 所	西大泉5-33
時間(目安)	お花、苗のある時期
販売品目	シクラメン、 パンジー、 ビオラなど 季節の花苗や野菜苗



### 4 小美濃園

(小美濃 邦弘さん)

住 所	南大泉5-39-7
時間(目安)	販売は不定期なためSNSなどで お知らせしています
販売品目	カリフラワー、キャベツ、サツ マイモ、サトイモ、ジャガイモ、 トウモロコシ、ネギ、ハクサイ、 ブロッコリー、ブルーベリー など



### 2 高田農園

(高田 実さん)

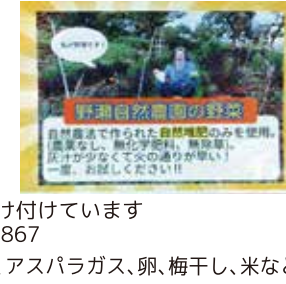
住 所	西大泉5-33-30
時間(目安)	8:00 ~ なくなり次第終了
販売品目	キュウリ、サトイモ、ダイ コン、ミニトマト、ナス、 ハクサイ、ブロッコリー、 ミカン、カキ、スイカなど



### 5 野瀬 自然農園

(野瀬 金作さん)

住 所	南大泉5-12-4
時間(目安)	ご依頼は電話で受け付けています 電話:090-8829-1867
販売品目	イモ類全般、長ネギ、アスパラガス、卵、梅干し、米など



### 3 永井農園

(永井 昭さん)

住 所	南大泉6-19-1
時間(目安)	8:00 ~ なくなり次第終了
販売品目	ナス、キュウリ、 ブルーベリー(夏の期間) など



### 6 春豊園

(高橋 勉さん、徹さん)

住 所	南大泉5-17-11
時間(目安)	9:00 ~ 17:00
販売品目	クリスマスローズ、パンジーな どの花卉類、花苗・野菜苗など ※多肉植物をお求めの場合は、裁 培場所が異なるため事前にご 連絡ください。 電話080-3933-1429





# 読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

※クロスワードの解答は任意です。



## プレゼント応募締め切り12月30日(月)必着

### 読者プレゼント

- 1 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 2 85円切手を貼って郵送
- 3 専用webフォームからも応募できます▶▶

### 応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・JAと本誌へのご意見やご感想、地域の話題、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえご応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で20名様にプレゼントいたします。

ご応募にあたって

個人情報等の取り扱いについて

広報誌あおば110号では、通常の「読者プレゼント企画」のほか、「准組合員アンケートご回答者さま向けのプレゼント企画」がございます。両方にご応募いただいた場合、准組合員アンケートのプレゼント企画にて抽選をさせていただきます。なお、准組合員アンケートの対象者は、当JAの准組合員に限りますのでご注意ください。

ご応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動、准組合員アンケート集計の目的以外では使用いたしません。

## プレゼント



在庫状況により一部商品が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

20名様

都内の貴重な醤油蔵  
近藤醸造(あきる野市)の  
商品セット



## follow me

直売所の最新情報は  
Instagramでも発信中!!

とれたて村石神井  
(toretatemurasyakujii\_aoba)



ふれあいの里  
(fureainosato\_aoba)



JA東京あおば  
(jatokyoaoba)



板橋地区  
アグリセンター  
(itabashi\_agri\_aoba)



練馬地区  
アグリセンター  
(nerima\_agri\_aoba)



ファーマーズショップ  
にりん草  
(nirinso\_u\_aoba)



ファーマーズショップ  
こぐれ村  
(koguremura\_aoba)



### 編集後記

今回も広報誌「あおば」110号をご覧いただきありがとうございます。10月に入りましたがまだまだ暑い日が続きますね。体調管理には十分にご注意ください。

「あつい」といえば、秋は農業祭などイベントが多く、JA東京あおばにとって「暑い季節」になります。今回も広報誌で取り上げている「青壮年部・女性部」の活動が多くあり、職員と各部員が成功に向け一致団結します。協同組合ならではの活動ですね。

広報誌「あおば」をご覧の皆さま、是非ともJA東京あおばのイベントへ遊びに来てください。お待ちしております。最後はこの言葉で締めたいと思います。5・4・3・2・1 熱盛!!

(広報委員 小原)

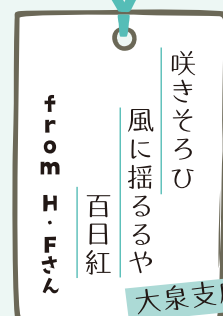
前号の答え A B C D E  
サ ル ス ベ リ



たくさんのご応募  
ありがとうございました。

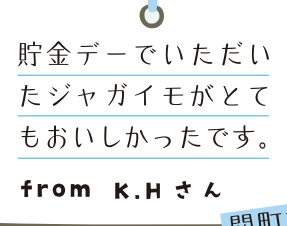
当選者はプレゼントの発送をもって  
発表にかえさせていただきます。

## 読者のひろば



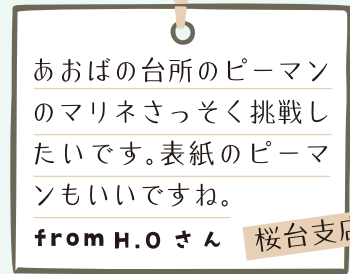
from H.F.さん

大泉支店



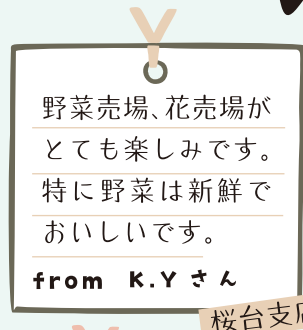
from K.H.さん

関町支店



from H.O.さん

桜台支店



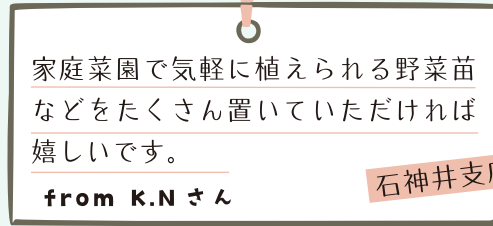
from K.Y.さん

桜台支店



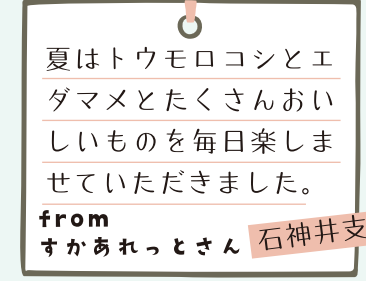
from 洋子ばあばさん

平和台支店



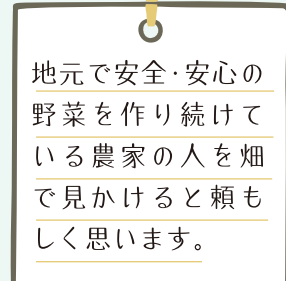
from K.N.さん

石神井支店



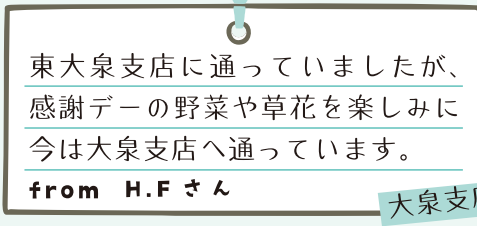
from すがあれっとさん

石神井支店



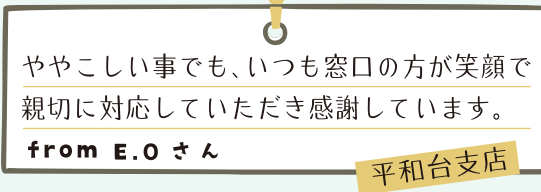
from M.S.さん

平和台支店



from H.F.さん

大泉支店



from E.O.さん

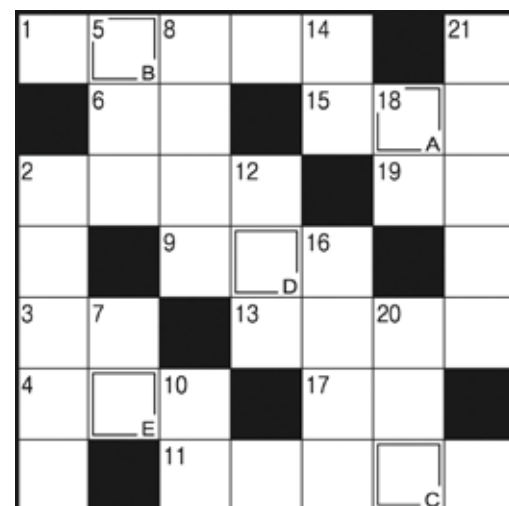
平和台支店



答えは次号で  
お知らせします!



二重マスの文字をA~Eの順に  
並べてできる言葉は何でしょうか?



## ヨコのカギ

- 1 甘柿の王様と呼ばれることもあります
- 2 屋内のこと。——派
- 3 ポンレス——、——サンド
- 4 漢字では石榴、柘榴など書く果物
- 5 たき火に手をかざして取りまます
- 6 飲んで食べて話して楽しまます
- 7 山野で生まれ育ったヤマノイモ
- 8 奇術師が披露するもの
- 9 ベンチよりふかふかしています
- 10 富士山の山頂を白くします
- 11 漬物やワインを詰めます

## タテのカギ

出題●ニコリ

- 2 日光の紅葉の名所。48個のカーブがあります
- 5 ——大敵、運転中は気を引き締めて
- 7 白——に身を包んだ花嫁さん
- 8 ジョギングや水泳、筋トレなどはこの一種
- 10 ハウスを使わず作物を育てる——栽培
- 12 考えるときにひねるもの
- 14 応用に移る前にしっかりと
- 16 1カ月の後ろ3分の1
- 18 ペンのはキャップと呼ぶこともあります
- 20 東京都中央区の地名。豊洲へ移転した東京都中央卸売市場があった場所
- 21 2人でおそろいの服を着ます



# 准組合員の皆さまのご意見をお聞かせください

- Q1** あなたの性別をご回答ください。 ① 男性 ② 女性 ③ その他
- Q2** あなたの年齢(年代)をご回答ください。  
①80歳代以上 ②70歳代 ③60歳代 ④50歳代 ⑤40歳代以下
- Q3** 令和5年度配当金通知書(7月上旬に郵送)に、直売所で利用できるお買い物補助券「500円」を同封いたしました。お買い物補助券をどのようにお使いになりましたか。  
※利用期限は12月30日です。まだ利用されていない方はぜひご利用ください。  
①地場産農産物の購入 ②精米したお米の購入 ③農業資材の購入(肥料・プランター・支柱等)  
④その他食料品 ⑤その他 ⑥まだ利用していない
- Q4** あなたがJA東京あおばに魅力を感じることをご回答ください。【複数回答可】  
①新鮮な地場産農産物 ②JAのプライベートブランド商品 ③精米したてのお米  
④農を通じたイベント(農業祭等) ⑤感謝デー(貯金・年金) ⑥出資金の配当金  
⑦貯金等の利用高に応じた配当金 ⑧職員の相談・提案力 ⑨その他 ⑩特に魅力を感じない
- Q5** 現在のあなたの年金受給状況をご回答ください。 ①現在、受給している ②これから受給する
- Q5で①を回答された方はQ6へ、②を回答された方はQ11へお進みください。

- Q6** 年金受給金融機関についてご回答ください。また、差し支えなければ、その金融機関名をお答えください。  
①JA東京あおば ②他金融機関( )
- Q7** 年金受給金融機関を選んだ際のポイントをご回答ください。【複数回答可】  
①自宅から近い  
②年金受給に関する定期貯金等の金利がよい  
③年金友の会のイベント(親睦旅行、ゲートボール、カラオケ等)  
④年金に関する手続き等をサポートしてくれたから  
⑤担当者の対応  
⑥その他( )
- Q8** 年金受給時や年金友の会の魅力に感じることを、取り組んでほしいことをご回答ください。【複数回答可】  
①年金感謝デーでのプレゼント  
②年金受給で金利上乘せ等の特典  
③支店で農産物出張販売  
④直売所商品の配達サービス(有料) ⑤収穫体験  
⑥資産活用相談 ⑦相続相談 ⑧カラオケ教室  
⑨親睦旅行 ⑩輪投げ大会 ⑪年金優待サービス  
⑫その他( )
- Q9** JA東京あおば「年金友の会」の満足度をご回答ください。  
①満足している ②どちらともいえない  
③満足していない ④加入していないのでわからない
- Q10** JA東京あおばでは、令和7年3月末まで「年金受給者お友達紹介キャンペーン」を実施しております。紹介者には「農協全国商品券」をプレゼントいたします。このキャンペーンについてご回答ください。  
①知っていて、お友達を紹介した  
②知っているが、お友達を紹介していない  
③知らなかった

- Q11** 今後、年金受給金融機関を選ぶ際に優先度の高い項目をご回答ください。【複数回答可】  
①自宅からの近さ  
②年金受給で金利上乘せ等の特典  
③年金友の会等のイベント  
④年金受給の手続き等のサポート  
⑤担当者の対応  
⑥その他( )
- Q12** 年金受給時や年金友の会の魅力に感じることを、取り組んでほしいことをご回答ください。【複数回答可】  
①年金感謝デーでのプレゼント  
②年金受給で金利上乘せ等の特典  
③支店で農産物出張販売  
④直売所商品の配達サービス(有料)  
⑤収穫体験 ⑥資産活用相談  
⑦相続相談 ⑧カラオケ教室  
⑨親睦旅行 ⑩輪投げ大会  
⑪年金優待サービス  
⑫その他( )
- Q13** JA東京あおばでは、無料の年金相談を実施しております。利用についてご回答ください。  
①ぜひ利用してみたい  
②機会があれば利用してみたい  
③他行ですでに相談済み

アンケートは、ハガキ裏面の回答欄のほか、下の専用フォームからでもご回答いただけます。地域の農業やくらしを応援する准組合員の皆さまからのご意見をお聞かせください。

アンケート専用フォーム▶▶▶



めんつゆ 360ml  
丸大豆しょうゆ 360ml

准組合員アンケートにご回答いただきました方より、抽選で都内の貴重な醤油蔵 近藤醸造(あきる野市)の商品セットをプレゼント!

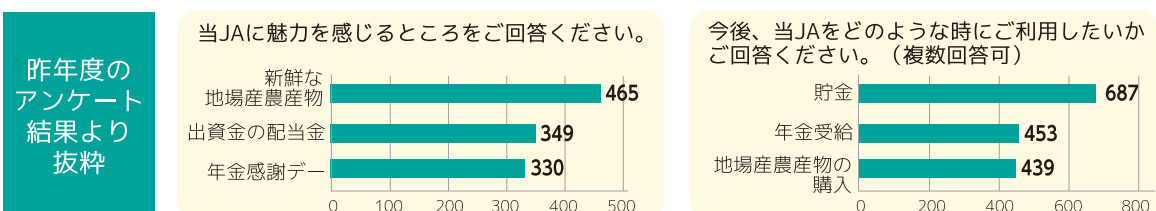


昨年度実施した准組合員アンケートでは、多くの皆さまから『新鮮な地場産農産物』や『出資金の配当』『年金感謝デー』に魅力を感じるとご回答をいただきました。令和6年度はアンケート結果から、直売所フェスタの開催や、組合員の皆さまへ、日頃の感謝の気持ちを込めて、都市農業を“買って応援”“食べて応援”していただくため「お買い物補助券(500円)」の配布を行いました。

今回は、年金受給に関するニーズ調査を行い、組合員皆さまの【声】をJA運営に反映し、より多くの皆さまにJAをご利用いただきたいと考えております。

JA東京あおばは准組合員を「正組合員とともに、農業や地域経済の発展を共に支える組合員」としており、地域農業においては、「地域農業振興の応援団」として位置付けております。

准組合員皆さまからのご意見をお聞かせください。



## JA東京あおば 年金友の会 新規会員募集中!

JA東京あおば年金友の会は、健康で明るい人生と明るい地域づくりの確立をめざし活動しております。これからもさまざまな活動を通じ、地域の皆さまと親睦を深めていきたいと考えております。皆さまのご参加をお待ちしております。

活動内容

日帰り親睦旅行	芸能ショーの観覧
カラオケ教室	健康体操

などなど

地域により活動内容が異なります。加入や詳しい活動内容については、お近くのJA東京あおば各店舗へお問い合わせください。

日頃の感謝をこめて「野菜」や「花」などをプレゼントいたします。

年金感謝デー 配布条件 当組合にて年金を受給されているお客様

偶数月の15日に開催 年金感謝デーの年間スケジュールはこちら▶



## 年金受給者お友達ご紹介キャンペーン実施中!

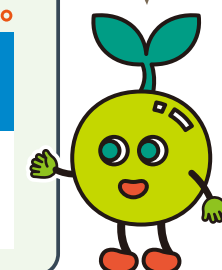
JA東京あおば直売所でも使える

「農協全国商品券」1,500円分をプレゼント!



准組合員は『地域農業振興の応援団』

ごアンケートに  
協力ください







## 女性部活動紹介

## 石神井地区

こんにちは！石神井地区女性部です。部員数46人で活動しています。今回は私たちの活動内容をいくつかご紹介します！

まず、「おかめの会」では、石神井支店の調理室で月2回、田舎まんじゅうとお赤飯を製造し、出来たてを直売所「とれたて村石神井」で販売しています。数量限定でお昼には完売するほどの人気商品です。次に、ヨガやゆったりとした動きを取り入れた「健康体操教室」では、健康維持のために楽しく身体を動かしています。次に、「共生の会」では70歳以上の地域の組合員を対象に「ミニデイサービス」を年2回開催し、輪投げやお手玉入れをはじめとしたレクリエーションなどの福祉サービスを行っています。また、令和元年からはフレッシュミズグループ※として「つぼみの会」を立ち上げ、年に数回フラワーアレンジメント講習会などを開催しています。その他、手芸講習会や初詣、他地区女性部と一緒に研修旅行や農業祭での田舎まんじゅう作りなど、さまざまな活動をしています。

女性部活動や仲間づくりに興味を持った方、石神井地区女性部に加入して私たちと一緒に活動してみませんか？

※主に40代～50代位の世代のグループ

問い合わせ先

JA東京あおば女性組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)  
電話 :03-5910-3066 (平日9時～17時)

# 学ぼう。遊ぼう。 楽しもう。

## 新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部



## 青壮年部 活動紹介

～夏の主なできごと～

8月1日(木)、練馬地区青壮年部主催で初の夏まつりを開きました。練馬春日町支店と練馬地区アグリセンターを会場に、農産物販売のほか「お子様の育てた農産物品評会」と題し、地域の子どもが学校や家庭で育てた農産物の品評会や地場産野菜を使ったピザ焼き体験、ミニ縁日コーナー、キッチンカーの出店等も行われ、3時間で約1,000人が来場しました。



今回のイベントは、部員の発案をもとにJAと対話を重ねて実現したもの。これまでJAに関わりのなかった子育て世代にも来場してほしいと、来場者数が見込める夏休み期間中の夕方開催とし、子どもを主役にした内容としました。



8月9日(金)、板橋地区青壮年部は適正施肥と土づくりの重要性についての勉強会を開き、部員16人が参加しました。近年の猛暑もあり、土づくりの重要性が改めて知りたいとの部員の声から開催が実現。当日は、朝日アグリア(株)に講師を依頼し、肥料の養分供給バランスと施肥量、土壌の役割や有機肥料の働きについて学びました。



問い合わせ先

JA東京あおば青壮年組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)  
電話 :03-5910-3066 (平日9時～17時)

### 青壮年部員が活躍する主なイベント

10月

25日(金)～27日(日)  
東京味わいフェスタ2024  
@豊洲(がすてなーにガスの科学館特設会場)ほか

25日(金)～26日(土)  
第53回東京都農業祭  
@東京国際フォーラム

11月

9日(土)～10日(日)  
第47回板橋農業まつり  
@板橋区立赤塚体育館周辺

16日(土)～17日(日)  
第27回JA東京あおば農業祭  
@都立光が丘公園けやき広場  
(青壮年部による模擬店が出店予定!)

24日(日)  
ねりマルシェ  
@練馬区立平成つつじ公園